



古考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和3年度 2月号
令和4年 2月3日
発行責任者 梶原 和子

いよいよ今年度もまとめの時期になりました。特に6年生は中学校へ進学という、これまでとは違った4月を迎えることとなります。学習は、部活動は、先生はと心配はつきないでしょう。でも、学校で一番大切なことは学業の充実です。6年生に限ったことではありませんので、再度、教科書を読み返し復習すること、次への準備のために予習することを怠らないください。さて、学校の授業で常に使っている教科書ですが、いつ頃からあったのかご存じですか。世界で一番古い教科書は、ホメロスという詩人が書いた詩であったとされています。日本ではどうでしょうか。平安時代に教科書のように使われた本があったようです。教科書のような体裁が整ったのは、室町時代、比叡山の僧侶玄恵が作ったとされる『庭訓往来』だそうです。江戸時代には、これをよりわかりやすくした『庭訓往来図讃』ができました。この頃から、子どもの成長に合わせたものにしようという流れになってきたようです。明治になってからは、国が教科書を作りました。その当時の小学校の教科書は、外国の教科書をそのまま日本語にしたようなものが多かったようです。私が見たものも内容は？でした。明治から令和と時が進むにつれ、教科書もずいぶん変わりました。中身もとてもわかりやすく、子どもの興味をひくものとなっています。ぜひ、教科書をしっかりと活用して予習復習し、学習内容の確実な理解に努めてほしいと思います。

残り少なくなった今年度、悔いの残らないよう過ごしてほしいと願っています。『一期一会』という言葉がありますね。人生あらゆることは一度しかないことと捉え、その場面で精一杯のことをしようと努力しようではありませんか。

学校評価結果について（保護者アンケートの結果と分析）

過日実施しました「学校評価」の結果についてお知らせいたします。なお、達成度を「よくあてはまる」と「あてはまる」を合計したパーセントとして示しました。保護者の皆様のご協力、大変感謝しています。貴重なご意見もたくさんいただきました。今後、この結果をもとに改善策を検討し、本校の教育活動がよりよいものになるよう努めます。

視点		評価項目	結果
学校教育目標の現状の視点から	進んで学ぶ	1 お子さんは学習習慣が身につき、進んで学習している。	68.8%
		2 お子さんは進んで発言や発表をしている。	63.5%
		3 お子さんは友だちと楽しく学習している。	90.3%
	心豊か	4 お子さんはあいさつや返事がよくできる。	81.8%
		5 お子さんは思いやりがあり、他の人のことを考えた行動がとれている。	88.9%
		6 お子さんは、進んで読書をしている。	47.7%
	たくましい	7 お子さんは、積極的に運動している。	59.3%
		8 お子さんは、衛生・健康に気をつけている。	80.8%
		9 お子さんは、交通やネット・学校のルールを守っている。	94.4%



視点		評価項目	結果	
児童・保護者・学校との関係の強化	学校生活	10 お子さんは、楽しく学校生活を送っている。		95.2%
		11 学校は、子どもの悩みをよく聞いてくれる。		84.1%
		12 学校は、子どもの努力を認め、励ましてくれる。		88.3%
		13 学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。		91.5%
	各種教育活動・行事	14 お子さんは、授業がよくわかり、意欲をもって学習している。	79.2%	
		15 お子さんは、楽しく給食を食べている。	92.2%	
		16 学校は、安全指導を適切に行い、災害時の安全確保や登下校の事故防止に努めている。	96.1%	
		17 学校は、保護者や地域住民、学校運営協議会と協力した教育活動を進めている。	91.0%	
		18 学校は、小中連携して教育活動を推進している。	81.9%	

【課題が見られた項目】

<視点1、2、6、7について>

- 学習習慣の定着については、学校と家庭とが連携して子どもへの意識付けを行う必要があります。勉強を好きだという子はほんの一部だと思います。できればやりたくないことでしょう。それでもわかるようになれば少しは楽しくなってくるものです。楽しいと思えるように、授業の工夫改善にこれからも努めて参ります。家庭学習は学習時間を決めて継続して行うことが大切です。ご協力をお願いします。
- 発言・発表については、学校全体の課題として取り組んでいるところです。挙手して発言するだけでなく、タブレット端末の効果的な活用なども通して、子どもたちが自分の考えをもち、それを相手にわかりやすく伝えることができるようになるよう、これからも指導して参ります。
- 読書は、本校の大きな課題です。学校では単に本を読めばいいというだけでなく、読書の質の向上についても工夫しながら取り組んでおります。発達段階に応じた読書、そして一冊をしっかりと読み切ること等各担任とも努力しています。図書館整備もボランティアの方とともに進めているところです。ご家庭でも、今後とも読書の推進にご協力をお願いします。
- 運動も、読書とともに本校の大きな課題です。特にこのコロナ禍では運動量・活動量の低下が顕著です。安全・安心に配慮して子どもたちの体力・運動能力の確保・向上に努めるよう、工夫して参ります。

※お忙しい中、本教教育についての誠意あるご回答、誠にありがとうございました。今後も、本校教育へのご協力についてよろしくお願いいたします。

「お金」について学習しました

1月21日に、6年生を対象に金銭教育を行いました。栃木県金融広報委員会から講師を派遣していただき、『じょうずに使う物やお金』というテーマで、「お金」にまつわる様々な内容について学習しました。「お金」の大切さについて、さらに「お金」より大切なものなどについても、考える場をつくっていただきました。日常生活において、ためになる話をたくさんうかがうことができました。



マスクの適切な着用について

全国的に感染症が再拡大し、若年齢の子も感染しやすい傾向にあることから、養護教諭からズーム配信で、各クラスにマスクの正しい着用について確認・お願いをしました。ご家庭でも感染防止のため、ご協力をお願いいたします。



※児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

